

2019年1月1日以降開始の事業年度より PFRS16号：リース新基準の適用が始まります。財務諸表（特に貸借対照表）に与える影響が大きい基準の改定です。

1. 概要

当該基準適用後は、リースの定義に該当する全ての借り手契約について、オンバランス処理が要求されます。

在フィリピン日系企業で主に影響を受ける項目としては、工場やオフィスの建物や土地の賃貸契約、車両等のリース契約が該当すると想定されます。

これまでは賃料を損益計算書（Income statement）上で費用処理するのみで、貸借対照表には計上されない、という処理が行われていましたが、これら対象の借り手契約について適用初年度期首時点における未払リース料総額をリース期間の残存期間で割引計算を行い、貸借対照表上「資産使用权」等の科目を使用して資産計上し、負債の部には同額を「リース負債」として計上するという処理が必要です。あわせて、今後は賃料の費用処理に変わり、資産計上された「資産使用权」等の償却計算及び割引計算に伴う支払利息の計上が必要です。このため、土地や建物等の契約がある場合には、資産および負債が大きくなることが予想され、総資産利益率等の指標が会計基準変更の影響によって悪化することが想定されます。

2. 適用企業

当該基準は PFRS を採用している会社に強制適用され、PFRS for SMRs や PFRS for SEs を使用している会社は任意適用です。

3. 最後に

年度末監査に向けて、この会計基準が強制適用される会社では、影響額の算定や、財務諸表での開示について、期末日を迎える前に監査人と適切に協議し、事前に準備をしておくことが重要です。

期末監査を受けている時点で当該基準の変更による影響等を計算すると、会社経理人員が監査対応以外の時間をとられることになり、監査のスケジュールに遅れが出るのが予想され、また、期末において貸借対照表に大きな修正が入る可能性があるため、仮締めで出した数字から大きく数字が変わってしまうことが予想されます。

会社紹介

P&A グラントソントン ジャパンデスク（担当：松下、川原田、今枝）

現在約 300 社の日系企業へサービスを提供。現地経営者、フィリピンマーケットへ進出を検討している日本企業の皆様へより、業務に深く関わったサービスを提供するべく日本窓口 1 名を含む計 4 名の日本人が対応しています。

この記事は 2019 年 6 月現在の情報を基に執筆されたものであり、内容の正確性については細心の注意を払っておりますが、保証をするものではありません。最新情報及び具体的な相談に関してはお問い合わせください。

© P&A Grant Thornton. All right reserved. P&A Grant Thornton is the Philippine member firm of Grant Thornton International Ltd (GTIL). GTIL and the member firms are not a worldwide partnership. Services are delivered by the member firms independently.

P&A グラントソントン

1988年 Benjamin R. Punongbayan と Jose G. Araullo によって設立。現在は、Chairman & CEO である Ma. Victoria Espano が指揮の元フィリピン TOP4 規模の会計会社として、主にフィリピン企業の顧客を始め、外国企業のフィリピン進出増加と共に、日系企業へのサービスも提供。2019年現在パートナー21名、社員850名の体制で構成されており、インターナショナルファームの一つである、Grant Thornton (グラントソントン)と提携し、そのノウハウを活かしながら、クオリティの高いサービスを、大手顧客から、ミッドサイズ、外国企業、スタートアップ企業まで幅広い顧客層へ提供しています。

お問い合わせ:

P&A グラントソントンジャパンデスク(松下、川原田、今枝)

Email: Japan.Desk@ph.gt.com

代表 HP www.grantthornton.com.ph

日本語会計・税務記事: www.grantthornton.com.ph/newsroom/japan-desk/

この記事は2019年6月現在の情報を基に執筆されたものであり、内容の正確性については細心の注意を払っておりますが、保証をするものではありません。最新情報及び具体的な相談に関してはお問い合わせください。

© P&A Grant Thornton. All right reserved. P&A Grant Thornton is the Philippine member firm of Grant Thornton International Ltd (GTIL). GTIL and the member firms are not a worldwide partnership. Services are delivered by the member firms independently.



SEC Memorandum Circular No. 6
Series of 2018

SUBJECT : ADOPTION OF NEW ACCOUNTING STANDARDS AND AMENDMENTS TO EXISTING ACCOUNTING STANDARDS

The Commission, in its meeting held on April 5, 2018, approved the adoption of the following pronouncements as part of SEC's rules and regulations on financial reporting:

Title	Retro-Application
Philippine Financial Reporting Standard (PFRS) 16, Leases	An entity shall apply this standard for annual periods <u>beginning on or after January 1, 2019</u> . Earlier application is <u>not</u> permitted until the Financial Reporting Standards Council (FRSC) has adopted International Financial Reporting Standard (IFRS) 15, the new revenue recognition standard. Once adopted, earlier application of PFRS 16 is permitted if the entity has adopted the new revenue recognition standard.
Disclosure Initiative [Amendments to Philippine Accounting Standard (PAS) 7]	An entity shall apply the amendments for annual periods <u>beginning on or after January 1, 2017</u> . Earlier application is permitted.
Recognition of Deferred Tax Assets for Unrealized Losses (Amendments to PAS 12)	An entity shall apply the amendments retrospectively for annual periods <u>beginning on or after January 1, 2017</u> . Earlier application is permitted.

All of the foregoing pronouncements have been adopted by the Philippine Financial Reporting Standards Council as approved by the Board of Accountancy and Professional Regulation Commission and published in the Official Gazette.

Issued this 06 day of April 2018 at Pasay City, Philippines.

For the Commission:

TERESITA J. HERBOSA
Chairperson

✉ PICC Secretariat Building, Pasay City | ☎ (+632) 818-6120 / (+632) 818-9763
www.sec.gov.ph | inquiry@sec.gov.ph